

市民アンケート（1 回目） 実施概要について

1 実施目的

- 静岡市の「こども・若者、子育て当事者、支援者、市民」の「意識・課題・ニーズ」を把握し、「静岡市こども計画」にその内容を反映するとともに、課題を改善するための施策を立案する。
- 計画で設定する各種施策の指標値の現状を把握し、目標値を設定するために使用する。

2 実施時期

- 令和 8 年 7 月 24 日（金）～令和 8 年 8 月 7 日（金） 15 日間

3 対象者

- 令和 8 年 4 月 1 日時点で 18 歳以上の市民（外国人登録者含む） 3,000 人

4 実施方法

- 対象者に調査依頼票を郵送し、オンラインで回答

5 アンケート内容

- 別紙のとおり
 - ・ こども、若者、子育て世帯を取り巻く現状への意識
 - ・ 静岡市の子育て支援に期待するもの、実施すべき取り組みの調査
 - ・ 施策体系案に対する意見聴取

6 アンケート活用方法

- アンケート結果から得られた各種施策への意識をもとに、指標の目標値を設定する。
- アンケートで得た意見を新計画に掲載する施策に反映させる。
- こども・子育て当事者を対象としたワークショップで資料として使用する。

7 市民アンケート（2 回目）について

- 10 月以降に同一対象者へ 2 回目のアンケートを実施予定。1 回目のアンケート、審議会、ワークショップ等の様々な方法で得た意見を踏まえて作成した具体的な計画案を示し、内容について意見を聴取する。

8 スケジュール

実施時期	実施内容
7 月	アンケート①実施
8 月	集計・分析・市 HP にて結果公表
9 月	
10 月	アンケート②準備・実施、分科会にてアンケート①結果報告
11 月	集計・分析・市 HP にて結果公表

☆ フォーム詳細 - 「(仮称) 静岡市こども計画」策定にかかる市民アンケート (1回目)

🔍 質問項目設定

🔧 基本情報設定

⚙️ 高度な設定

👤 権限設定

🔍 動作確認

🔗 公開

項目ID: 172

このアンケートは、静岡市内に在住している18歳以上の方3,000人を無作為に抽出してお送りしています。

<アンケートについて>

- 「(仮称) 静岡市こども計画」策定の基礎資料とするため、静岡市の子育て支援や子育て環境について、あなたのご意見をお聞かせください。
- いただいたご意見などを参考に、「(仮称) 静岡市こども計画」を策定します。
この計画に対するご意見をお聞きするため、令和8年10月以降に再度アンケートを行わせていただく予定です。
お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

<ご回答にあたって>

- ご回答は、封筒の宛て名となっております「あなた様ご自身」をお願いします。
- 回答の目安は約10分です。
- 回答はお一人様1回限りです。
- アンケートは名前を記入しない「無記名方式」のため、個人が特定されることはありません。
- 受付期間中は、いつでもご都合のいい時間に回答できます（メンテナンス中を除く）。
- インターネット上のデータ送受信は、安全な通信を行うために暗号化しています。
- 入力内容の一時保存が可能で、一時保存したところから再開が可能です。
- 調査結果は、市ホームページでお知らせします。

<受付期間> 令和8年7月24日（金）～8月7日（金）

あなたご自身のことについてお答えください（令和8年7月1日現在）。

項目ID: 185

Q1. あなたの年代を教えてください。 必須

項目ID: 21

- ☐ 10代
- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代
- ☐ 70代以上

Q2. あなたの性別を教えてください。 必須

項目ID: 187

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他
- ☐ 答えない

Q3. お住まいの地域を教えてください。 必須

項目ID: 186

- ☐ 葵区
- ☐ 駿河区
- ☐ 清水区

こども・若者の育ちや権利、子育て環境について、あなたの考えを教えてください。

項目ID: 150

Q4. 「こどもは権利の主体（こどもも一人の人として尊重され、自分の意見や気持ちを大切にされる存在）である」と思いますか。 必須

項目ID: 143

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

Q5. あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。
必須

項目ID: 151

（例）こども・若者の年齢や発達の程度に応じた自然体験、職業体験、文化芸術体験 必須

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

Q6. こどもや若者が必要な時に保健・医療の提供を受けられていると思いますか。 必須

項目ID: 152

（例）妊娠・出産、産後の健康管理への支援、慢性疾患等の医療的ケアが必要なこどもへの支援、心の健康支援 必須

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

Q7. 家庭の経済状況にかかわらず、こども・若者が健やかに成長できる社会となっていると思いますか。 必須

項目ID: 153

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

Q8. 障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者が、地域の中で安心して暮らしたり、活動に参加したりできていると思いますか。 必須

項目ID: 154

それぞれのこども・若者の置かれた環境やライフステージに応じて、発達や将来の自立、社会参加が支援できているか。 必須

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

Q9. 保護や支援を必要とするこども・若者へのきめ細かな対応ができていると思いますか。

必須

項目ID: 155

児童虐待防止対策、社会的養護を必要とするこども・若者に対する支援、ヤングケアラーへの支援等がなされているか。 必須

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

Q10. 静岡市は安心して出産・子育てができるまちだと思いますか。 必須

項目ID: 156

妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療が確保できているか。 必須

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない

☐ わからない

Q11. 静岡市は、子育てや教育にかかる経済的負担が少ないと思いますか。 必須

項目ID: 158

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 思わない
- ☐ わからない

Q12. 静岡市は、子育て世帯が仕事と子育てを両立できているまちだと思いますか。 必須

項目ID: 162

- ☐ そう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 思わない
- ☐ わからない

こども・若者・子育て世帯の現状と課題について、あなたの考えに近いものを選んでください。

項目ID: 167

Q13. 現在、こども・若者・子育て世帯を取り巻く環境には、どのような不安や課題があると思いますか。

(あてはまると思うものを3つまで選択) 必須

項目ID: 163

- ☐ こどもが遊べる場所の不足
- ☐ 安心して過ごせる居場所の不足
- ☐ 安全に過ごせる環境の整備
- ☐ 医療体制の不足
- ☐ 発育や発達面で配慮が必要なこどもへの支援
- ☐ いじめや不登校
- ☐ 気軽に相談できる場所や相手が少ない
- ☐ 心の健康やストレスに関する不安
- ☐ 子育てや教育にかかる経済的負担

- ☐ 地域とのつながりの希薄化
- ☐ 必要な情報が届きにくい
- ☐ 若者の就職や将来への不安
- ☐ 子育てと仕事の両立
- ☐ わからない
- ☐ その他

Q14. あなたは、静岡市が今後どのようなまちになることを望みますか。

項目ID: 168

(特に重要と思うものを3つまで選択) 必須

- ☐ こどもの権利が尊重されるまち
- ☐ 学びや成長の機会が充実したまち
- ☐ 安全・安心に暮らせるまち
- ☐ 地域全体でこどもを支えるまち
- ☐ 多様性を認め合うまち
- ☐ 安心して子育てできるまち
- ☐ 若者が住み続けたいと思えるまち
- ☐ 若者が活躍できるまち
- ☐ 気軽に相談しやすいまち
- ☐ わからない
- ☐ その他

Q15. 今後、静岡市が重点的に取り組むべき取組は何だと思われますか。

項目ID: 170

(特に重要と思うものを3つまで選択) 必須

- ☐ 子育て支援
- ☐ 教育支援
- ☐ 若者支援
- ☐ 相談体制の充実
- ☐ 経済的支援
- ☐ 居場所づくり
- ☐ 不登校支援

- ☐ 虐待防止
- ☐ 地域交流
- ☐ 情報発信
- ☐ 安全に生活できる環境の整備
- ☐ わからない
- ☐ その他

Q16. 子育てを支援をするために、効果が高いと考えられるものまたは充実を図ってほしいと期待するものはどれですか。

(あてはまると思うものをすべて選択)

項目ID: 175

保育施設の充実

- ☐ 放課後児童クラブを増やす
- ☐ 認定こども園や保育園などの教育・保育施設を増やす
- ☐ 行政では対応しにくいきめ細やかなサービスの提供が期待できる、NPO法人等による保育サービスの充実
- ☐ その他

項目ID: 177

遊び場の拡充

- ☐ 屋内（児童館など）のこどもの遊び場の拡充
- ☐ 屋外（公園など）のこどもの遊び場の拡充
- ☐ その他

項目ID: 184

教育支援

- ☐ 放課後子ども教室の活動の充実
- ☐ 発育や発達面で配慮が必要なこどもの受け入れ体制の充実
- ☐ その他

項目ID: 176

相談体制の充実

- ☐ 親が子育てについて学ぶことができる講習会等の開催を増やす
- ☐ 安心して子育てができるための相談機関の充実
- ☐ その他

項目ID: 174

経済的支援

- ☐ 不妊治療に対する経済的支援の充実
- ☐ 出産に対する経済的支援の充実
- ☐ 認定こども園・保育園や幼稚園の費用負担の軽減
- ☐ 児童手当の支給額の増額
- ☐ こども医療費助成の対象拡大
- ☐ 子育て世帯の優先入居や広い部屋の割り当て等の住宅面の配慮
- ☐ その他

項目ID: 178

地域交流

- ☐ 親子で参加できる各種イベントの開催を増やす
- ☐ 子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり
- ☐ その他

項目ID: 180

情報発信

- ☐ 子育て支援に関する情報提供の拡充
- ☐ その他

項目ID: 181

安心・安全の確保

- ☐ 公共施設におけるファミリートイレの設置またはバリアフリー化等の整備
- ☐ 安心してこどもが医療機関を受診できる体制の整備
- ☐ その他

項目ID: 183

その他

- ☐ 残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し
- ☐ 男性の家事・育児への参加を促進
- ☐ わからない（特にない）
- ☐ その他

静岡市こども計画について伺います。

項目ID: 189

[（アンケート補足資料）こども計画の策定について](#)

Q17. 「(アンケート補足資料) こども計画の策定について」をお読みいただき、計画で『目指すところ』を実現するための5つの視点に対するご意見や、必要だと考える施策についてお聞かせください。

項目ID: 193

不足していると思う視点・施策

0 / 60000

項目ID: 191

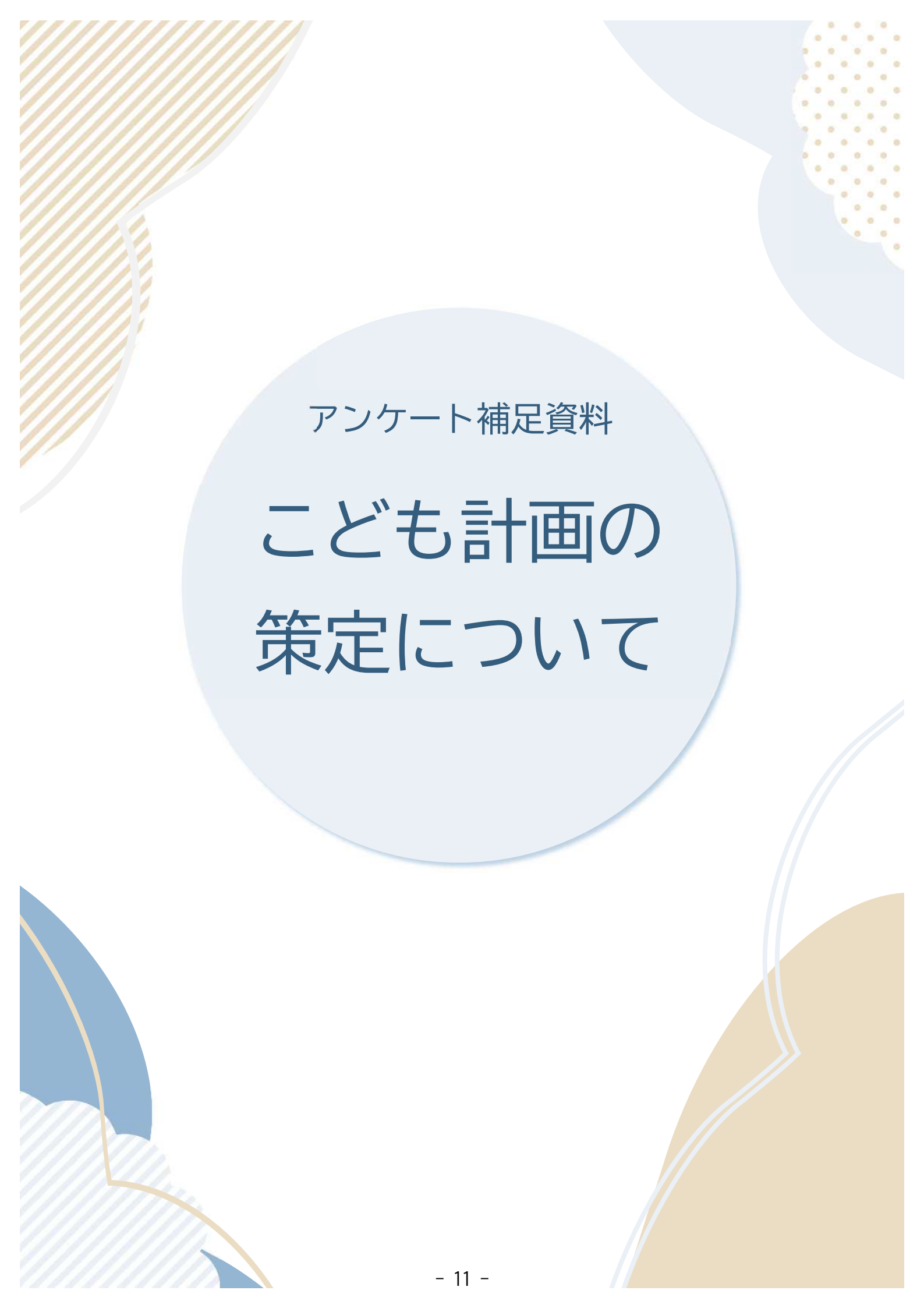
わかりにくいと思う項目

0 / 60000

項目ID: 194

その他

0 / 60000



アンケート補足資料

こども計画の 策定について

静岡市では、こども計画策定の準備をしています

静岡市では、「(仮称) 静岡市こども計画」を策定するため、準備を進めています。計画の概要について、現在の検討状況をお伝えいたします。こども・若者・子育て支援当事者のために、重点的に取り組むべき施策など、皆様のお考えをお聞かせください。

1 こども計画ってなに？

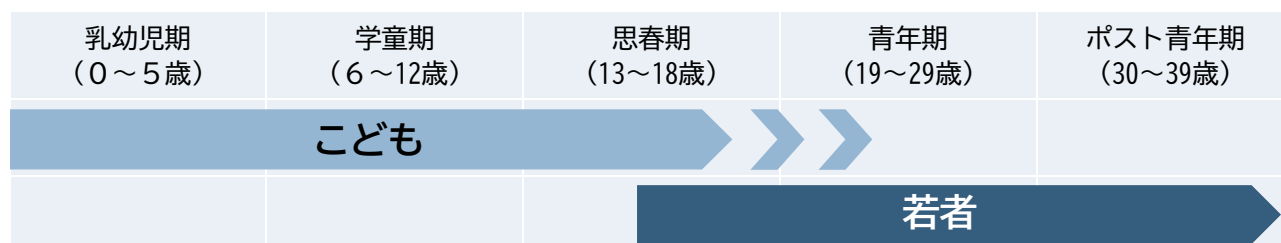
現在、少子化の進行や、共働き世帯の増加、働き方・ライフスタイルの変化に伴い、子育て支援に対するニーズは多様化しています。

また、児童虐待、不登校、ヤングケアラー、貧困、生きづらさや孤独・孤立の問題など、こども・若者を取り巻く課題も複雑化しています。

こうした状況を踏まえ、静岡市では、全てのこども・若者が心身ともに健やかに成長し、自分らしく幸せに暮らすことができる社会の実現を目指し、こども・若者・子育て当事者を支えるため、「(仮称) 静岡市こども計画」を策定し、支援の取組を進めていきます。

2 誰のための計画？

「(仮称) 静岡市こども計画」は、市内のすべてのこども・若者、子育て当事者、こども・若者を取り巻く社会のすべての構成員（家庭、地域、学校、職場等）の方のための計画です。その方たちへの様々な支援の施策を掲載します。



(※)こども・若者には、国籍や障がいの有無等にかかわらず、全ての方を含みます。

3 計画の期間は？

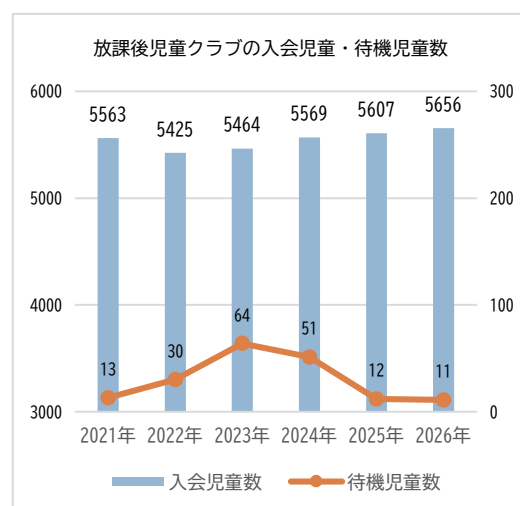
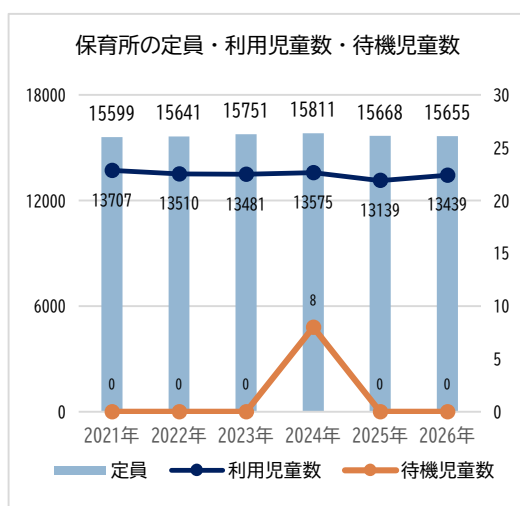
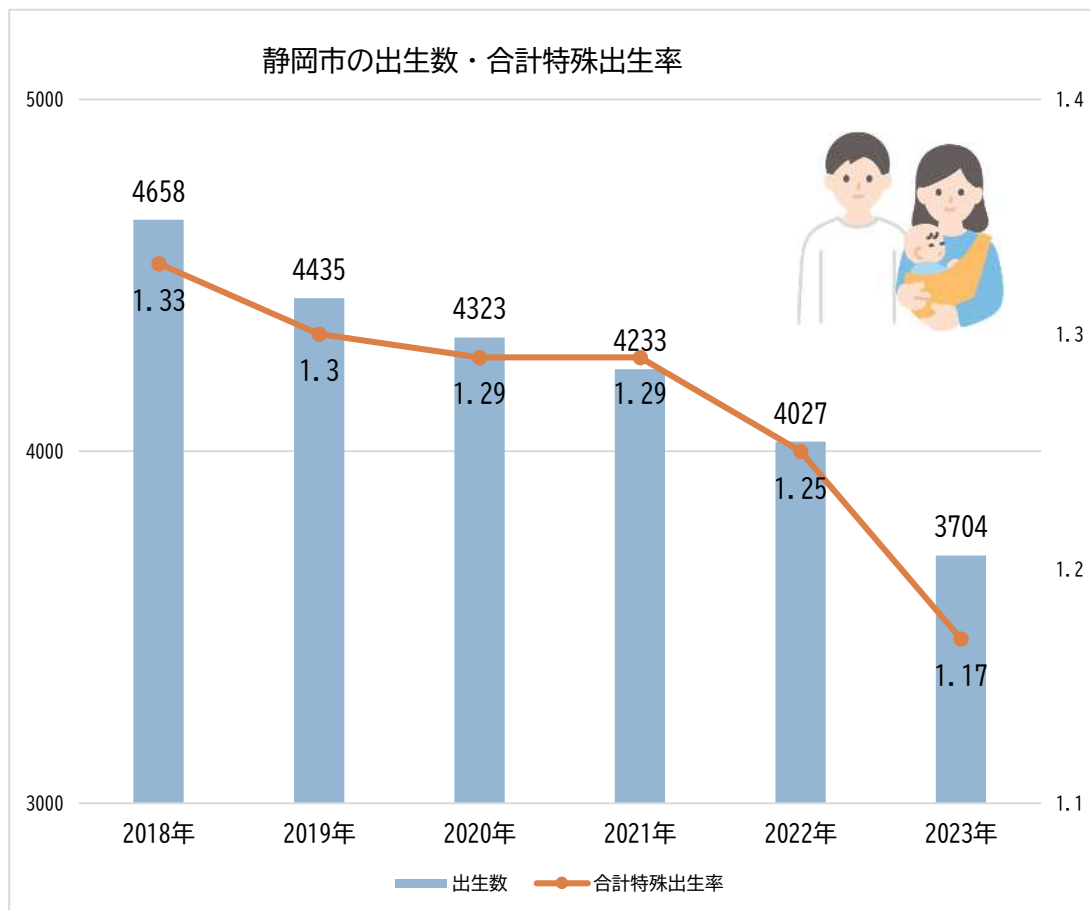
計画の期間は、令和9（2027）年度から令和17（2035）年度までの9年間です。計画の進捗状況や社会環境に大きな変化があった場合は、必要に応じて見直しを行います。



4

静岡市の現状

静岡市においても、毎年の出生数は減少しています。一方で、共働き世帯の増加により、保育所や放課後児童クラブの利用者は、増加傾向にあります。



5

計画で実現したいこと（目指すところ）

静岡市では、こども・若者を将来の担い手としてだけでなく、いまを生きる一人の主体として尊重し、家庭、地域、学校、企業、行政などが相互に支え合いながら、こども・若者と子育て当事者が幸せに暮らせる社会を目指したいと考えています。

目指すところ

温かい地域社会に支えられ、
日本一安心してこどもを産み育てることができ、
こども・若者が健やかに育つまち『しずおか』

6

計画で具体的に取ること

計画では、『目指すところ』を実現するため、次の視点を大事にして、支援の施策を考えます。

視点1 こども・若者を権利の主体として尊重する

全てのこども・若者が、年齢、障がい、家庭環境、国籍、性別、性的指向・性自認等にかかわらず尊重され、あらゆる場面で、その最善の利益が考慮されるまちを目指します。

視点2 こども・若者、子育て当事者の声を聴き、ともに進める

計画の策定、実施、評価、見直しの各段階で、こども・若者や子育て当事者の意見を聴き、対話を通じて施策に反映します（アンケート、ワークショップ、ヒアリングの実施など）。

視点3 ライフステージに応じて切れ目なく支える

妊娠前から妊娠期、出産、乳幼児期、学童期・思春期、青年期に至るまで、保健、医療、福祉、教育、雇用、住まい、地域活動等の関係分野が連携し、支援の切れ目や制度の狭間を生じさせない体制をつくります。

視点4 困難を抱えるこども・若者を早期に把握、包摂的に支援する

貧困、虐待、障がい、医療的ケア、ヤングケアラー、不登校、ひきこもり、自殺リスク、犯罪被害、外国にルーツがあることなど、複合的な困難を抱えるこども・若者に対し、早期把握と伴走型支援を進めます。

視点5 若い世代の希望の形成と実現を支える

若者が将来に希望を持ち、学び、働き、暮らし、結婚や子育てに関する希望を選択できるよう、教育、キャリア形成、就労支援、経済的基盤の安定、相談体制の充実を一体的に進めます。